



藤岡 緑 議員

問 町内の高齢化率の現状は。

答 町の高齢化率は、31.4%。

独居高齢世帯率は、13.2%で高齢夫婦世帯率15.7%と明らかに5年前と比較しても増加している。

問 特に生活に関する困りごとの中で

通院や買い物、掃除などが挙げられているが、「医療・介護・予防・住まい・生活支援」を一体的に提供する地域包括ケアシステムは機能しているのか。

答 支援が必要な高齢者を地域で支え合い、助け合える体制を構築するため、平成28年度から校区ごとに協議体を設置し地域情報を共有し「生活支援体制整備事業」に取り組んできた。

この取組により、住民同士の支え合い意識は高まったが、身近な困りごとを解決する体制までには至らなかった。

問 今後の対策としては。

答 この協議体を各大字にも設置し、地域ごとの身近な生活課題を見つけて出しボランティアや社会福祉法人、民間企業など多様な機関と連携し支え合う活動の実現に向け体制づくりを進めていく。

★支援体制が整うまでの間は、現在ボランティアセンターに登録する団体のごみ出しやシルバー人材センターも実施している買い物、掃除等の家事サービスなどをつなぎ、これらを広報紙で広く周知していく。



地域でゴミ出し支援も

問 繁殖力の強い野良猫が激増する懸念がある。

野良猫を捕獲して譲渡会を催すボランティア活動に公的な場所を提供するなど後押しをする考えはあるのか。

答 人の集まりやすい公的施設で譲渡会の相談があれば、施設管理者へ手続を取り次ぐなど取組に協力する。なお、県は動物愛護推進計画に基づき譲渡講習会や譲渡会をしている。この取組にも協力していきたい。

問 避妊などの手術には費用がかかる。1回あたり避妊2万1千円・墮胎2万5千円＋処理費用5千円・去勢1万3千円程度で町では犬・猫不妊去勢手術費助成金で2300円×170頭の予算があるがボランティアの自己負担も多い。

これは、飼犬・猫も含んでいる。助成金の増額の取組をする考えは



稲田 輝宏 議員

あるのか。

答 犬・猫の不必要な繁殖や周囲に対する危害・迷惑の防止をはかるため不妊手術などに助成金を設けている。令和2年度は猫145頭・犬25頭、計170頭に対し助成した。

ボランティアで自費により野良猫の不妊去勢手術による繁殖防止活動をしている地域住民から助成金増額の要望があり、協議した結果トラブルの減少・殺処分の減少に一定の成果があると認め、令和4年度から増額し当初予算案に計上の予定だ。

野良猫を増やさないためには不用意に餌をやらない事で今後もチラシ配布など啓発活動の強化や手術の助成を続けていきたい。



譲渡会の様子

